

第5節 トルコ外交におけるスーダンとソマリア

今井 宏平

近年トルコは北アフリカおよび「アフリカの角」と呼ばれる地域への関与も強めている。本報告では、トルコの中東とアフリカに対する外交を概観したうえで、その中でもソマリアとスーダンに関して考察を行い、トルコと両国の関係の深化を素描するとともに、それが中東秩序に及ぼす影響について検討する。ソマリアとスーダンはアフリカの国々であるが、トルコ外交の中の位置づけは、単なるアフリカ諸国ではなく、中東外交の延長線上で理解すべき地域でもある。

(1) トルコの中東諸国との関係

トルコの中東地域に対する外交は一筋縄では語れない。中東はオスマン帝国を構成した地域の一部であるが、第一次世界大戦中のアラブ人の対応、具体的にはオスマン帝国からの離脱の選択により、トルコ共和国設立後、その関係は希薄であった。1960年代中頃からソ連のアフガニスタン侵攻が勃発する1979年12月までの冷戦のデタント期において、トルコは中東諸国との関係を改善するが、トルコが本格的に中東諸国との協力関係を深めたのは冷戦後の時期であった¹。とはいえ、1990年代は隣国のイラクやシリアがトルコにとって安全保障上の脅威であったため、経済関係や文化的な交流は希薄であった。安全保障上のやりとりだけでなく、経済や文化的な交流も含めて、中東諸国との関係が活発になったのは公正発展党（Adalet ve Kalkınma Partisi: AKP）が単独与党となった2002年11月以降であった。

公正発展党の中東地域に対する外交も時代によって変化している。2000年代から2011年に「アラブの春」が発生するまで、トルコは安全保障・経済・文化交流といった全分野でシリア、レバノンなど、隣接諸国と密接な関係を取り結んだ²。「アラブの春」以降、トルコは地域的に、隣接する諸国家だけでなく、カタール、さらには北アフリカや「アフリカの角」地域にも積極的に進出するようになった。また、「アラブの春」以降はリビアやシリアの内戦の影響もあり、再び安全保障が各国関係の中心となった。トルコはとりわけカタールとの関係を深め、2014年12月にはトルコ軍がカタールに駐留することが決定した。また、2017年にサウジアラビアを始めとした湾岸協力会議（Gulf Cooperation Council: GCC）諸国がカタール断交を実施した際、トルコはカタールに対して経済協力を行い、一方で2018年8月から10月にトルコがアメリカから経済制裁を受けた際、カタールがトルコを支援するなどその関係は密接である³。

(2) トルコとアフリカの関係

トルコがアフリカへの関与を強めたのはここ20年ほどである。2003年にアフリカ諸国との経済関係発展のための戦略が準備され、2004年は「トルコにおけるアフリカ年」といったイベントが続いた。その中でも、特にこの10年前後の力の入れ方は注目に値する。その最初の大きな事業が、2008年8月にアフリカの49か国が参加し、イスタンブールで開催された第1回トルコ・アフリカ・サミットであった。このサミットにおいて、「トルコとアフリカのパートナーシップに関するイスタンブール宣言」が採択され、トルコとアフリカ諸国の協力の枠組みが構築された。その後、第2回のサミットが2014年11月に赤道ギニアの首都、マラボで開催された。第3回のサミットは2020年にトルコで開催が予定されている。トルコ外務省のウェブサイトを見ると、より具体的にトルコとアフリカ諸国との関係深化が理解できる⁴。アフリカのトルコ領事館の数は2009年時点では12にすぎなかったのに対し、2015年10月時点では3倍以上増加し、39となっている。また、経済関係では2003年から2015年の間に2国間関係の貿易額の総額が3倍となり、175億ドルとなっている。また、アフリカから奨学金制度を利用し、多くのアフリカ人学生がトルコにやってくるようになった。17か国が、ビザなしでトルコに渡航することが可能となっている。さらにトルコ航空は、アフリカの31か国48都市に就航している。

(3) トルコとソマリアの関係

トルコとソマリアの関係を検討する際の鍵概念の1つが人道外交である。2003年から2016年5月まで、首相の外交アドバイザー、外務大臣、首相としてトルコ外交の舵取りを行ってきたアフメット・ダーヴトオール（Ahmet Davutoğlu）は外交における様々な概念を提示・実践したが、その1つが人道外交であった。ダーヴトオールは人道外交を3つのレベルに区分している⁵。第1のレベルは、トルコ国内の問題を解決し、国民生活を容易にすることである。第2のレベルは、危機に直面している地域に住む人々への援助であり、例えば、地域としてソマリア、シリア、アフガニスタンの人々に対する諸政策があげられる。第3のレベルは、国連の人道支援の尊重と、そこにおけるトルコの貢献である。ダーヴトオールは、人道外交の重要なアクターとして、トルコ国際協力機構（Türk İşbirliği ve Koordinasyon Ajansı Başkanlığı: TİKA）、トルコ赤新月社、トルコ災害・緊急時対応庁（Afet ve Acil Durum Yönetimi Başkanlığı: AFAD）、総合住宅管理庁（Toplu Konut İdaresi Başkanlığı: TOKİ）、トルコ航空をあげている。トルコの人道外交を語るうえで欠かせない事例がソマリアである。

トルコがソマリアとの関係を強化し始めたのは2011年からである。2010年にソマリアが干ばつに見舞われたことを受け、まず2011年8月にレジェップ・タイイップ・エルドアン（Recep Tayyip Erdoğan）（現大統領、当時は首相）がソマリアを訪問した。エルドアン

首相の訪問はソマリアへの国家元首の訪問として、2例目であった。加えて、TİKAを中心にトルコ国内で援助キャンペーンを展開し、約3億ドルの援助をソマリアに対して実施した⁶。トルコ赤新月社もソマリアで活動を展開している。2010年以降、アフリカ路線を拡大していたトルコ航空であるが、2012年3月に世界の主要航空会社として初めてソマリアの首都モガディシュに2週間に1便の定期便を飛ばし始めた⁷。エルドアンは大統領に就任した後の2015年1月にも再びソマリアを訪問している。

トルコのソマリアに対する積極的な関与は今日まで続いている。最近のTİKAの『2017年活動報告書』では、トルコによるソマリアへの援助は6,000万ドルでシリアに次いで2番目に多い援助額となっている⁸。また、後発開発途上国に限れば、トルコにとって対ソマリア援助は最多で、他のアフリカの角・紅海に近いスーダン、エチオピア、イエメンへの援助額も上位となっている。具体的には、農業学校の建設、湾岸警備のためのボートの提供、教育支援、病院訓練プロジェクト、専門的な薬学訓練などを実施している。

加えて、安全保障の分野でもトルコはソマリアとのつながりを強めようとしており、2017年にはモガディシュに軍事基地を設置した（第2節参照）。これはカタルへのトルコ軍の駐留に続いて2例目の軍の海外駐留となる。

(4) トルコとスーダンの関係

トルコは近年、スーダンとの関係も強化している⁹。象徴的だったのが、2017年12月のエルドアン大統領のスーダン訪問である。この時、12の分野で協定が締結された。また、紅海のスアキン島をスーダンがトルコに99年間貸与することにも合意した。スアキン島に関して、エルドアン大統領は観光のために貸与と説明していたが、当初から基地建設が目的ではないかという指摘が多かった¹⁰。その後、2018年3月にはスーダンとカタルがスアキン島の開発に合意している。トルコとカタルがスアキン島の開発に力を入れているのは明らかである。さらに同年11月にフルシ・アカル（Hulusi Akar）国防大臣がスーダンを訪問し、軍事協力の拡大とトルコが軍事訓練施設をスーダンに設立したい考えがあることを確認した¹¹。

2017年のエルドアン大統領のスーダン訪問以降、経済関係も活発となっている。2017年12月から2018年12月の1年間で両国の貿易量は2倍以上に増加した。トルコ対外経済関係理事会（Dış Ekonomik İlişkiler Kurulu: DEİK）に参加する多くのトルコ企業がスーダンに進出し、プロジェクトを開始、もしくは開始を検討している。2018年11月にはファット・オクタイ（Fuat Oktay）副大統領がハルツームを訪問し、エネルギー、農業、電力、家畜、輸送、航空産業、保健、教育の分野で更なる協力関係を結び、5年間で2国間の貿易額を20倍の100億ドルまで増やすことを約束した¹²。

ここ数年、順調に深化していたトルコとスーダンの関係だが、2019年4月にこれまでト

ルコおよびカタールとの関係強化を推し進めてきたオマル・ハサン・アフマド・アル・バシール（Omar Hassan Ahmad al-Bashir）大統領が失脚したことで、今後の関係が不透明となっている。とりわけスアキン島についての合意が破棄される可能性が欧米のメディアなどで指摘されているが、今のところそうした動きは具体化していない。

(5) まとめ

本稿では、トルコの中東外交およびアフリカ外交を概観したうえで、トルコのソマリアとスーダンとの関係について考察してきた。トルコは、2010年代に近隣諸国の混乱およびカタールとの関係強化で中東とアフリカの間に位置する紅海周辺地域のスーダンとソマリアへと外交のウイングを広げた。しかし、トルコの紅海進出は、トルコおよびその友好国であるカタールと、ムスリム同胞団の処遇を中心に関係が悪化しているエジプト、UAE、サウジアラビアをいら立たせている。スーダンはまさにそのトルコ・カタールとサウジ・UAE・エジプトの最前線となっている。バシール大統領失脚後、サウジ・UAEは軍部を、トルコ・カタールはイスラム主義者を支援していると言われている。現時点では、軍部に近いサウジ・UAEが優勢と報道されているが¹³、トルコとカタールをスーダンから放逐する動きも具体化していない。スーダンとしては、幅広く経済関係を結び、発展を進めていくようである。スーダンはトルコより以前にカタールがその関係を深めており、トルコもカタールを介して関係強化に乗り出したように映る。一方、トルコが着実に関係を強化してきたソマリアについても、やはりUAEがソマリアの内戦時から支援を行っており、トルコ・カタールとサウジアラビア・UAE・エジプトの対立が飛び火している。

隣国の混乱で「遠い」中東への関与を強めているトルコであるが、隣国との関係同様、紅海周辺の北アフリカ・アフリカの角での外交に関して、難しい舵取りを強いられている。

— 注 —

- 1 冷戦期以前のトルコの中東外交に関しては、例えば以下を参照。Philip Robins, *Turkey and the Middle East* (London: Continuum Intl Pub Group, 1991).
- 2 2000年代のトルコの中東外交に関しては、例えば以下を参照。今井宏平『中東秩序をめぐる現代トルコ外交』（ミネルヴァ書房、2015年）、特に第2部。
- 3 2010年代のトルコとカタールの関係に関しては以下を参照。今井宏平「なぜトルコはカタールを重視するのか」『中東研究』No.531（2018年1月）95-104頁。
- 4 Republic of Turkey Ministry of Foreign Affairs, *Turkey-Africa Relations* <<http://www.mfa.gov.tr/turkey-africa-relations.en.mfa>>, accessed on October 27, 2019.
- 5 Republic of Turkey Ministry of Foreign Affairs, *Dışişleri Bakanı Sayın Ahmet Davutoğlu'nun V. Büyükelçiler Konferansında Yaptığı Konuşma 2 Ocak 2013, Ankara* <http://www.mfa.gov.tr/disisleri-bakani-sayin-ahmet-davutoglu_nun-v_buyukelciler-konferansinda-yaptigi-konusma_-2-ocak-2013_-ankara.tr.mfa>, accessed on October 28, 2019. トルコの人道外交の詳細は以下を参照。今井宏平「新興国の人道外交—トルコの取り

組みを事例として一」西海真樹・都留康子編著『中央大学社会科学研究所研究叢書 32：変容する地球社会と平和への課題』（中央大学出版部、2016年）223-243頁。

- 6 Republic of Turkey Ministry of Foreign Affairs, *Relations between Turkey and Somalia* <<http://www.mfa.gov.tr/relations-between-turkey-and-somalia.en.mfa>>, accessed on October 27, 2019.
- 7 “Somalia: Turkish Airlines begins flights to Mogadishu,” *BBC*, March 6, 2012.
- 8 Turkish Development Assistance Report 2017 <<https://www.tika.gov.tr/upload/2019/Turkish%20Development%20Assistance%20Report%202017/Kalkinma2017EngWeb.pdf>>, accessed on February 20, 2020.
- 9 “The Turkey-Sudan alliance: Changing Red Sea geopolitics,” *Anadolu Agency*, December 11, 2018.
- 10 Sami Moubayed, “Turkish base in Sudan a problem for Arab powers,” *Gulf News*, December 28, 2017.
- 11 Sarp Ozer, “Turkey’s defense minister in Sudan for military talks,” *Anadolu Agency*, November 6, 2018.
- 12 “Turkey, Sudan sign range of bilateral agreements,” *Hürriyet Daily News*, November 21, 2018.
- 13 “Is Sudan a new regional battleground?,” *BBC*, May 2, 2019.

